

懇懇を以て待遇改善の爲めを従業員に訴へしむる點二十二
 出の労働會より八月十日日協合との關係ある従業員に
 對するは、福岡鐵道合同労働組合の空席を察して協合並
 る點、同々本平四月市内御味鐵工社友會の労働争議の關係
 然るに最近に至り一強従業員間の待遇上の不満を生じ、同
 々の要求する。

見、御味鐵工社友會の従業員に於ては、昔御味鐵の労働者
 を支拂ひたつた。曾て御味鐵の待遇改善要求の運動の發生を
 つたつて、合併當初夫々兩會社の賃金が御味鐵の標準賃金
 額に對して、御味鐵友會派（本水）も亦合併して増立ち、その
 御味鐵車社友會派の御味鐵本平十月東洋鐵道合同労働争議車
 社

福岡車社友會派従業員代表會

福岡労働組合
 福岡労働組合
 福岡労働組合

財團協同會福岡出張所

日會社側は従業員の見給（二錢乃至三錢）を發表したるを以
 て組合側は効果ありとして以來數回に亘り同様のビラ撒布と
 共に組合員獲得に努め遂に福岡電車分會の組織を持つに至つ
 たのである。

この組合策動の成功により九月八日従業員代表として電車分
 會長杉本勇外五名が會社を訪問し初任給最底壹圓貳拾錢、年
 二回の定期昇給、食事時間十五分制等の六項目を要求したる
 も内田常務取締役不在にて交渉纏らず續いて十四日十一時半
 再度會社を訪問し要求の回答を迫りたるも前同同様要領を得
 ざる爲遂に午後四時半を期し全線一齊にゼネストを敢行し新
 に二十二項目の要求を提出したるが會社側の譲歩にて十五項
 目承認、一項目削除、一項目不承認、五項目保留することと
 なり僅か一夜にて一應解決を見たのである。